2017年11月改訂（第2版　新記載要領に基づく改訂）
2007年 9月作成（第1版）

製造販売届出番号：13B1X00048000537

機械器具　38　医療用鉤

一般医療機器　眼科用鉤　（ＪＭＤＮ：32767000）

販売名：　新型虹彩プロテクター

【禁忌・禁止】

1．本品の二次加工(改造・調整等)は折損及び本来機能を損なう原因となるので絶対にしないこと。

2．屈曲型の微細な先端部を有するフック（鉤）の角度が新品と異なっている場合は、衝撃などにより、屈曲部に金属疲労に伴う亀裂が発生している場合があるので使用しないこと。

【形状、構造及び原理等】

手術野を確保して操作できるように患者の耳側からアプローチできるように虹彩をカバーし、保護する鉤がシャフトに対して90°の角度になっている。手術眼の左右に合わせて左右、及び鉤の幅が３㎜、５㎜の２種類がある。

外観写真

先端写真

形状及び寸法

型式	販売名
S-153L3	新型虹彩プロテクター　３㎜、左
S-153R3	新型虹彩プロテクター　３㎜、右
S-153L5	新型虹彩プロテクター　５㎜、左
S-153R5	新型虹彩プロテクター　５㎜、右

ステンレス鋼：規格　SUS304

【使用目的又は効果】

白内障手術の際、虹彩を保護し、水晶嚢の娩出をサポートすることを目的にする器具。

【使用方法等】

水晶体核の娩出に際して、鉤を虹彩に引っ掛けるように装着し、僅かに手前下側に軽く引くようにして瞳孔を散大させ娩出を容易にしながら虹彩に損傷を与えないよう保護する。滅菌方法：高圧蒸気滅菌

【使用上の注意】

1．使用前に必ず洗浄・滅菌（保守・点検に係る事項参照）をすること。

2．既定の使用目的以外に使用しないこと。

3．折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力（応力）を加えないこと。

4．電気メスを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷をする危険性があり、また、器具の表面を損傷するので併用しないこと。

5．塩素系及びヨウ素系の消毒剤は、腐食の原因になるので、出来るだけ使用を避けること。使用中に付着したときには水洗いすること。

6．使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないうちに直ちに洗浄液等に浸漬すること。また、必要以上の浸漬は表面を劣化させるおそれがあるので、洗浄液の適正な用法用量(時間)で浸漬後、蒸留水で洗い流し、十分に乾燥させること。

【保管方法及び有効期間等】

1．高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。

2．滅菌したものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに有効保管期間の管理をすること。

【保守・点検に係る事項】

1．使用前に汚れ、傷、曲がり等の異常がないか点検すること。

2．洗浄／滅菌を装置で行う場合には、器具同士が接触して微細な先端部を損傷させないように隔離されたシリコンメッシュマットあるいはラック式滅菌用コンテナ等にセットすること。

3．細いシャフトを有する製品等は、超音波洗浄・超音波滅菌をしないこと。やむを得ず使用する場合には、器具を手に持った状態で先端のみを洗浄液に漬け、瞬時の処理のみとすること。

4．洗剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げすすぎには、浄化水（濾過、蒸留、脱イオン化等）を用いることを推奨する。

5．強アルカリ／強酸性/塩素系/ヨウ素系の洗浄剤・消毒剤は、器具を腐食させるおそれがあるので使用を避けること。

6．金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので汚物除去及び洗浄時の使用はしないこと。

7．使用後は、出来るだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、職業感染防止のために洗浄・消毒すること。

8．使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないうちに直ちに洗浄液等に浸漬すること。また、必要以上の浸漬は表面を劣化させるおそれがあるので、洗浄液の適正な用法用量(濃度・時間)で浸漬後、蒸留水で洗い流し、十分に乾燥させること。

9．点検後、セット・包装をし、高圧蒸気滅菌をすること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者　株式会社イナミ
〒113-0033　東京都文京区本郷三丁目24番2号
TEL　03-3814-1731　/　FAX　03-3814-3334

製 造 業 者　有限会社　大木医科工業